

公益社団法人 日本小児保健協会 令和 3 (2021) 年度 定時社員総会議事録

日時：令和 3 (2021) 年 6 月 19 日 (土) 13:15~14:15

場所：日本小児保健協会会議室（東京都千代田区神田東松下町 12-1 トナカイ神田タワー9 階）

開催方法：Zoom による Web 会議を導入して開催

出席：真部淳、高橋勉、亀井淳、内川喜盛、小枝達也、湊上達夫、前田美穂、三牧正和、
山縣然太郎、徳村光昭、越田理恵、山崎嘉久、平山雅浩、桑田弘美、花木啓一、
塚原宏一、日下隆、森内浩幸（以上、理事）、秋山千枝子、並木由美江（以上、監事）

欠席：長谷川奉延、張田豊、金子一成、酒井規夫、柳川敏彦、山下裕史朗（以上、理事）

議事：

《報告事項》

1. 令和 3 (2021) 年度 事業計画
2. 令和 3 (2021) 年度 予算書
3. 令和 2 (2020) 年度 事業報告
4. その他

(1) 令和 3 (2021) 年度 協会活動助成 小児保健奨励賞の決定について

《審議事項》

1. 令和 3 (2021) 年度名誉会員の推薦について
2. 第 71 回日本小児保健協会学術集会について
3. 令和 2 (2020) 年度決算書案ならびに監査報告

《総会の成立》

令和 3 (2021) 年 6 月 19 日 (土) 日本小児保健協会会議室（東京都千代田区神田）において、社員総数 178 名のうち、出席者 140 名（本人出席 54 名、委任状 86 名）で社員の過半数以上に達したことにより総会は成立した。なお、新型コロナウイルス感染症に関する状況により、会議室での開催と同時に WEB 会議での出席を勧奨した。議長は、代議員の中から山崎嘉久氏が選任され、議事を進行した。議事録署名人 2 名については、立候補、推薦はなく、議長から秋山 千枝子（東京都）、並木 由美江（埼玉県）両代議員が指名され、承認が得られた。

《挨拶》

開会に先立ち、小枝達也会長より挨拶がなされた。

《黙 禱》

* 令和 2 年度中にご逝去の会員へ黙禱を捧げた。

《報告事項》

1. 令和3(2021)年度 事業計画

※徳村総務担当理事より説明がなされた。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大により、当協会事業へも大きな影響があった(セミナー・研修会等の中止、WEB開催への変更、第67回学術集会(久留米)の開催時期および開催方法(WEB開催)の変更、委員会活動のWEB会議導入等)。令和3年度事業計画では、新型コロナウイルス感染症の影響が引き続いていることから、令和2年度の事業実施の経験を踏まえ、状況をみつつ、WEB配信やWEB会議の利点は活かしながら活動を展開していくこと等が、各委員会、研修事業等で計画されている。

2. 令和3(2021)年度 予算書

※三牧財務担当理事より説明がなされた。

3. 令和2(2020)年度 事業報告

※徳村総務担当理事より、上記「1. 令和3(2021)年度 事業計画」と共に説明がなされた。また、総会議案中のP28末尾～P29の記述に誤りがあったことが説明され、以下の点について訂正された。

(誤)

令和2年度第9回理事会見直し決議(令和3(2021)年1月4日付全理事・全監事同意)

〈提案事項〉1. 日本小児科学会からの「虐待による乳幼児頭部外傷に対する日本小児科学会の見解」への賛同依頼について、承認された。

(正)

令和2年度第9回理事会見直し決議(令和3(2021)年1月4日付全理事・全監事同意)

〈提案事項〉1. 日本小児科学会からの「虐待による乳幼児頭部外傷に対する日本小児科学会の見解」への賛同依頼については、全理事の賛同を得るに至らず否決された。

4. その他

(1) 令和3(2021)年度 協会活動助成 小児保健奨励賞の決定について

※前田協会活動担当理事より説明がなされた。例年、協会活動助成については総会終了後に表彰式を執り行っているが、今年度はWEB参加を導入・勸奨した総会であることから、開催を控える。

○研究助成

1)論文執筆者名：西 留美子(にし るびこ)氏(帝京平成大学ヒューマンケア学部看護学科/研究職)

論文名：在宅重症心身障害児の被虐待様場面に対して訪問看護師が情報提供ケースとして判断する実態と関連要因

掲載巻号：小児保健研究 第79巻1号 p. 36～45

種類：研究

2) 論文執筆者名：佐鹿 孝子（さしか たかこ） 氏（前埼玉医科大学保健医療学部看護学科／看護師）

論文名：医療的ケア児と家族の社会生活とウェルビーイングを支える多職種連携の過程

掲載巻号：小児保健研究 第79巻5号 p. 466～476

種類：研究

○小児保健・愛育会賞

※令和3（2021）年度は、都道府県小児保健協会からの対象事業の推薦はなく、授賞はなし。

令和2年からの新型コロナウイルス感染症の件もあり、各地での小児保健に関する事業においても、実施や計画が困難であることが考えられ、今回の対象事業はなしとなったことが説明された。

《審議事項》

1. 令和3（2021）年度名誉会員の推薦について

※徳村総務担当理事より説明がなされた。理事会より下記の先生が推薦され、承認された。

（石川県）関 秀俊（せき ひでとし） 氏

（埼玉県）平岩 幹男（ひらいわ みきお） 氏

2. 第71回日本小児保健協会学術集会について

※小枝会長より、第71回（令和6（2024）年度）学術集会会頭について理事会からの下記の先生を推薦することが説明され、承認された。

北海道大学大学院 医学研究院 小児科学教室

教授 真部 淳（まなべ あつし） 氏

3. 令和2（2020）年度決算書案ならびに監査報告

※令和2（2020）年度決算書案について、三牧財務担当理事より説明がなされ、承認された。

令和2年度決算においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、各種のセミナー・研修会事業、委員会事業等が中止となったこと、WEB配信を用いた形式での開催となったこと等の事業の抑制があり、会議費、会場費、講師謝金、旅費交通費等の費用の支出が抑えられた結果となった。今後も、新型コロナウイルス感染症の状況を注視しつつ、年間の事業活動を継続していく方法等を検討していく。

※秋山監事より監査報告がなされた。令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大状況によって、事業実施への影響が大きく認められ、例年との比較において収支に大きな影響を及ぼしていることが述べられた。

令和3（2021）年6月19日
公益社団法人 日本小児保健協会

議 長 山崎 嘉久 ⑩

議事録署名人 秋山 千枝子 ⑩

議事録署名人 並木 由美江 ⑩